

胆嚢炎治療のため診療を受けられた患者さんへ

福岡東医療センター 外科では以下の研究を実施しています。

この研究は、過去の診療情報を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」と呼ばれる学術活動です。過去に実施された検査の結果等の診療情報等を利用しますので、患者さんに新たにご負担いただく検査や治療はありません。また、学術論文や学会で公表する場合も、個人情報の保護には十分配慮し、第三者には誰のものか一切わからないようにします。

患者さんにはご自身の診療情報が使用されることを拒否する権利があります。本研究の対象に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に使用されることを希望されない場合は下記の問い合わせ先にご連絡ください。既に学会や論文発表が行われている場合はデータを削除できない場合がありますのでご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、患者さんが診療上で不利益を被ることはありません。

【研究課題名】	急性胆嚢炎に対する胆嚢摘出術の短期成績に維持透析が与える影響
【研究実施期間】	倫理委員会承認日～2027 年 4 月 30 日
【研究実施機関・研究責任者】	独立行政法人国立病院機構 福岡東医療センター 外科 研究責任者 富野 高広
【対象となる方】	西暦 2023 年 12 月 01 日から 2026 年 7 月 31 日に外科にて胆嚢炎の診療のため入院し、手術を受けた方 155 名
【研究の意義、目的、方法】	胆嚢炎では手術後に重い合併症を生じることがあります。本研究では、手術前の全身状態や胆嚢炎の重症度は術後合併症のリスク評価に役立つか検討します。当院で胆嚢炎の手術を受けた患者さんの診療記録を用いて、手術前の全身状態、胆嚢炎の程度、術後合併症を調べ、関連を検討します。
【利用する情報の種類】	胆嚢炎の診療に関する診療記録、臨床検査データ(白血球数、血小板数、CRP 値、PT%, 総ビリルビン値、クレアチニン値など)、手術記録、麻酔記録、術後経過および合併症に関する情報、診断用画像(CT/MRI 検査)
【個人情報の保護】	研究に際して、生年月日、カルテ番号、住所、氏名などの個人が特定できる情報は収集しません。また、研究の結果を公表する際も個人が特定できないよう配慮いたします。
【問い合わせ先】	独立行政法人 国立病院機構 福岡東医療センター 研究責任者：外科 富野 高広 住所：〒811-3195 福岡県古賀市千鳥 1-1-1 電話番号：092-943-2331（代表）